

高校年代にかわいがられた生徒は社会貢献します！  
 人柄の良い生徒・先生・地域に囲まれて  
 過ごす3年間は、あなたの人生を大きく変えます。

生徒全国募集！  
 男女寮完備・町から支援

## ついに「世界募集」「ベトナム」から入学します。

留学ではありません！ 加計高生として1年生に入学予定です。

### 世界募集を行った理念

日本の素晴らしさの一つに「技術」がありますが、その素晴らしさは「**技術+技術者魂**」と考えます。今の留学制度ではほとんどがベトナムの高校卒業後に来日します。しかしより技術者魂（日本の心）を学ぶためには、より若いうちに来日してもらい、日本で暮らすことによって技術者魂等の日本の心を学んで欲しいという思いで高校からの入学（世界募集）を行っています。



ひろしまベトナム協会主催のテトを祝う会に行ってきました。



YMCA で学ぶ生徒を激励に来られたドンズー日本語学校のホ工校長先生（左）と記念撮影。80 過ぎには見えない元気でです。



YMCA で日本語を学び日本の大学を目指す生徒と記念撮影。

この度、縁あってベトナムの高校1年生が加計高校への入学を希望してくれました。ベトナムは国民の約半数が20代30代の若い国家であると聞いています。

今ベトナムでは、ベトナムに進出した日系企業への就職や、留学、技能実習生等での来日、アニメや漫画等の日本文化へのあこがれから、日本語学習者が増加する傾向にあります。特に最近では大震災後の秩序正しい日本人の行動をテレビ等で観て、日本から学ばなければならないと思い日本語を学ぶ学生が多いそうです。

元々ベトナムには古くから「東遊（ドンズー）運動」があり「東に学ぶ」、すなわち「日本に学ぶ」という意味を持っており、20 世紀初頭にフランスの植民地であったベトナムの民族独立のために、日露戦争に刺激されたファン ポイ チャウ達が民衆から集めた資金で優れた青年達を日本に留学させて人材育成を進めた活動が「東遊運動」と呼ばれていました。

この運動を引き継ぎたいとの思いから、自らが「国のために学び、国のために尽くす」と強い志を持って、奨学金で日本の京都大学に留学したホ工校長が帰国後ドンズー日本語学校を設立しました。ホ工校長は、ドンズー日本語学校の設立理念として「家計は豊かではないものの優秀で学習意欲が高く大きな夢を持つ若者を日本に留学させて、最先端技術を学び、文化交流をして、帰国後はベトナムの発展に貢献する人材を育成する」・「日本から学びベトナムへ伝える」を学校設立の理念にされています。

### 「魅力作り」推進 4 項目 現在進行形

- ①アクティブラーニング（自主学習・協調学習）
- ②応募活動（全国レベルを知る、全国表彰受賞）
- ③地域ボランティア（町行事99%スタッフで参加）
- ④国際交流（ハワイ・台湾・韓国と連携）

ルールを守る

マナーを守る

日本の心を守る

かわいがられ、地域貢献できる人材育成